

相生デイサービス新聞

発行所
相生DS
44-4165

わたらせ川 あゆ解禁、
梅雨ばれの空の下、鮎釣りが解禁に
なりました。
澄んだ流れに、

竿がしななって、
若鮎がおどりま
す。

名詩

静かなる六月の夜に
風軽くあゆみ去れば
しらぐくと
野は明るみ、月出づ。

三木露風

旬 しょうが



独特の辛みと香りで、食欲増進

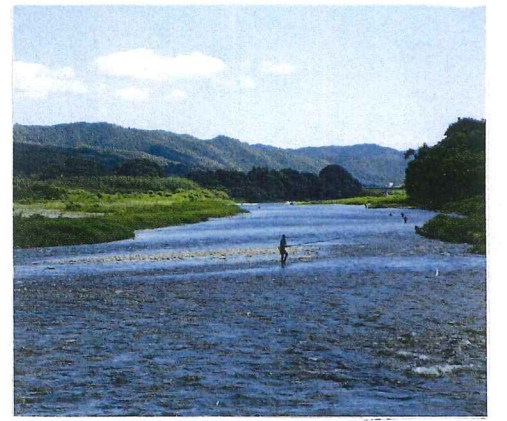
10日は 時の記念日

天智天皇が日本で初めて水時計を設置した日にちなんで。

「時は金なり」



中之条町 六合地区 (お蚕さんの里)

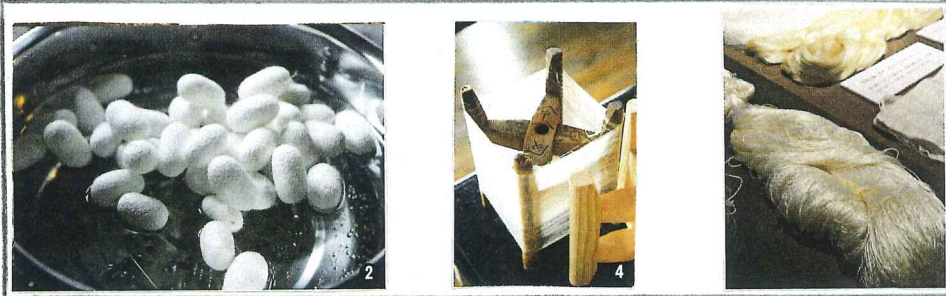


清流・那珂川 鮎釣り

季節のことは

腐草為螢

(ふそうほたるとなる)



古く中国では、夏季に腐った草が、蒸れて螢になるとされた。

思い出の名画

♪ドはドナツのド



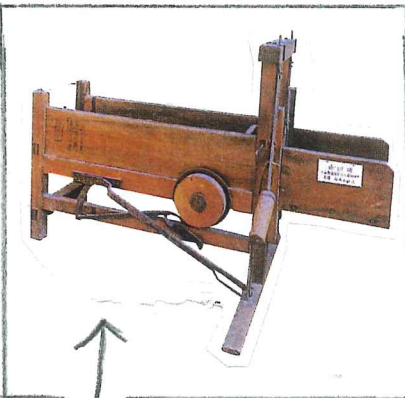
1965年

美しく、楽しく、勇気に満ちた音楽の調べ

サウンド・オブ・ミュージック

ユーモアくらぶ

「台所に立った。」
「何、たべたい」
「うむ...」
「ためきうどん」
「早い。」
「でも、天カスも薬味もないわ」
「だから、ためきうどん」
「はい、お待ち」
「この道具は何んだろう？」
「答 ()」



♪なつがくれば おもいだす...
屋瀬6月の花



ミスバシヨウ



リュウキンカ



ヒメジャクナゲ



ミツガシワ

天声珍語
知の記録である。
一オ
人生最初の試練を知る。
(誕生餅は重いのだ)
三オ
日本語を覚える。
(かあちゃん)
十オ
父のやさしい嘘を知る。
(サンタを演じるとうちゃん)
二十一オ
夜の過ごし方を知る。
四十四オ
酒の苦さを知る。
四十九オ
病院のベッドの冷たさと
看護婦の暖かさを知る。
六十オ
「目に入れても痛くない」
この意味を喜びのうちに実感する。
それから今日まで
何ひとつ新たな
知はない。
スズ